

喜多方市立駒形小学校で 防災出前講座を実施しました



洪水や土砂災害の危険性について説明する様子

出前講座では、大雨がもたらす洪水や土砂災害について、実際に起こった災害の写真や映像を交えながらお話しした後、模型学習を行いました。

模型学習では、がけ崩れと土石流を再現し、児童自ら操作体験してもらうことで、土砂災害の仕組みやそれを防ぐ仕組み、いざという時の避難について学んでもらいました。

- 1 実施日時
令和6年11月19日(火) 10:20～11:05
- 2 受講者
喜多方市立駒形小学校 5年生 5名
- 3 実施協力
福島県砂防ボランティア協会



がけ崩れの模型を使って説明する様子



土石流の模型を使って説明する様子

近年、地球温暖化に伴う局地的集中豪雨など、洪水や土砂災害により、多くの尊い命が失われています。

福島県では、「集中豪雨から命を守るプロジェクト事業」として、地域が連携した減災体制の構築や、地域住民の防災意識の向上のため「防災出前講座」等を実施しています。



喜多方市では古代文字（漢字）を活かしたまちづくりを行っており、「絆」は喜多方建設事務所を表した古代文字で、地域との繋がりを大切にし、地域の想いを形にする姿をイメージしたものです。

福島県喜多方建設事務所

〒966-0901

福島県喜多方市松山町鳥見山字下天神6番地の3
TEL 0241-24-5707（企画調査課）

FUKUSHIMA

